

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	塵芥収集事業			コード	81113	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	吉田 和正
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち			
		政策	循環型社会の構築	施策	廃棄物対策の推進	
		予算科目	塵芥収集事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	なし	
		根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第37号）			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	定位置に排出された燃やすごみ、埋立ごみの効率的な収集及び、清掃湖周クリーンセンターへの持込まれるごみに対し、さらなる分別の徹底を図る。		
目的	対象者	ごみを排出する市民や事業者	
	意図	ごみ減量と3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> 燃やすごみ5コース（週2回）の収集委託を長期契約（H29.4.1-32.3.31）を実施し、諏訪湖周クリーンセンターへ搬入した。 埋立ごみ1コース（月1回）の収集委託を長期契約（H29.4.1-32.3.31）で実施した。 委託業者に年4回実施の連絡調整会議を通じ、未収集の徹底及び事故防止の注意喚起を行った。 廃棄物処理業等の新規許可、更新業務を行った。 廃棄物処理手数料の収納業務を行った。 		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 衛生自治会に定位置巡回の強化をお願いし、違反ごみの状況について、逐次連絡をもらって対応した。 違反ごみは、収集業者と違反内容について再確認を行った。 		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
	区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	経常経費	50,195,076	38,754,517	38,430,619	43,156,000
	臨時経費	48,028,488	38,754,517	38,430,619	43,156,000
		2,166,588	0	0	0
	*臨時経費の説明	H28：収集運搬経費のうち、諏訪市、下諏訪町清掃センターへの追加運搬分			
② 人件費	正規職員の人数（人）	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
		0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト（①+②）	前年度比	53,395,076	41,954,517	41,630,619	46,356,000
			78.6%	99.2%	111.4%
	財源内訳	24,184,336	10,752,937	9,095,989	9,243,000
	特定財源	29,210,740	31,201,580	32,534,630	37,113,000
	*特定財源の説明	*廃棄物処理手数料			
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) ・ 収集コースによって収集量に偏りがあるため、コースの再編成が必要になると考えられる。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・ 収集コース別の排出量調査、定位置の確認を実施する。
改善方法	
改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---